

令和7年度 東京都立淵江高等学校 学校経営計画

1 目指す学校像	
綱 領	誠実 努力 実現
スローガン	踏み出す 力を 得る学び
スクールカラー	藍青色
【スクール・ミッション】 生命及び人権尊重の精神と、寛容及び協調の態度を持ち、中立公平な立場から自主的に判断ができる、社会性に富んだ人材としての資質を養うことを目指して、教科横断的な体験活動を通じて、将来に向けて学び続ける力、困難があってもやり通す力、他者との関係を築く力を育成します。 【教育目標】 ア 生命及び人権尊重の精神と、寛容及び協調の態度をもち、中立公平な立場から自主的に判断ができる社会性に富んだ人間としての資質を養う。 イ 知性の向上に努め、健全で情緒及び個性豊かな人間を育成する。 ウ 責任を持って意欲的に困難を克服しようとする人間を育成する。 【スクール・ポリシー】 (1) グラデュエーション・ポリシー：規範意識をもち、困難にめげず主体的に行動し、自他を尊重して、社会の中で貢献できる人間を育てる。 ① 集団の一員として、志をもって学び続けることのできる生徒を育てる。 ② 将来を見通す力、社会に貢献できる力、新しい関係を築く力を育成する。 ③ キャリア教育を通して進路を見極め、充実した学習活動を展開し、希望の進路を実現する。 (2) カリキュラム・ポリシー：基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けさせ、主体的・協働的に課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力の育成を図る。 (3) アドミッション・ポリシー ① 自らの進路について主体的に考え、その実現に向けて努力する生徒 ② 学習活動に積極的に取り組み、良好な学業成績と良好な出席状況が期待できる生徒 ③ 学校行事や部活動また、「東京グローバル人材育成指針」（令和4年3月）を踏まえグローバル人材育成として国際交流やボランティア活動などに積極的に取り組んでいく生徒 ④ 本校の規則を遵守し、けじめと礼節のある生活を送ることができる生徒 ⑤ 「TOKYO ACTIVE PLAN for students」に基づいた取り組みに係り体力に向上及び健康の保持増進に努められる生徒	
2 中期的目標と方策	
学 習 指 導	【目標】 ◆新学習指導要領を踏まえた、基礎的・基本的な学力の定着と思考・判断・表現力・学びに向かう態度の育成 【方策】 (1) スクール・ミッションを踏まえたスクール・ポリシーの具現化の推進 (2) 教科内、教科間、教科外活動との連携を深めた授業内容、方法の工夫と改善 (3) SDGsを見据えた、汎用的な思考力の育成、主体的、協働的な学習活動の推進 (4) 一人1台端末整備を踏まえた、オンライン学習等を含めたICT教育の推進
生 健 活 康 指 導 く り	【目標】 ◆生活指導指針に基づいた、規範意識の育成、人権意識の涵養による望ましい人間関係能力の育成 ◆健康で安全な生活を送るための判断力、実行力の育成 【方策】 (1) 規律ある生活、ルール・マナーを遵守する指導の充実 (2) 豊かな人間性を涵養する人権教育の充実 (3) 安全指導や基礎体力向上に向けた指導の徹底 (4) コンディションレポートを用いた健康管理の推進（欠席、遅刻の確認率100%）
進 路 指 導	【目標】 ◆適性に応じた進路を見極めさせ、希望の進路を実現 【方策】 (1) 3年間を見通した計画的、組織的な進路指導体制の確立 (2) 外部機関と連携したキャリア教育の充実による進路意識の啓発
特 別 活 動	【目標】 ◆学校行事、部活動への自律的な参加と活性化 【方策】 (1) 委員会、部活動指導の工夫による、生徒の自信と意欲、意識の高揚 (2) ボランティア活動、国際交流の活性化
募 集 広 報 活 動	【目標】 ◆応募倍率の向上とHPの充実 【方策】 (1) 全教員による組織的な広報活動体制の構築 (2) ホームページ等による学校情報の発信とこまめな更新
学 校 経 営 組 織 体 制	【目標】 ◆綱領の決定と新たなスローガンの策定 ◆企画調整会議の機能の向上及び各分掌・学年及びその連携による活性化と効率化 ◆経営企画室との連携推進と自律経営予算の有効活用の推進 【方策】 (1) 学校創立の歴史及び沿革等の確認し、学校に最適な普遍的な教育理念を確定 (2) 分掌・学年間での頻繁な情報交換による課題、提案等の共有化 (3) 仕事の効率化、ライフ・ワーク・バランスの推進 (4) 計画的な予算要求と執行

3 今年度の取組目標と方策	
(1) 教育活動の目標と方策	
学習指導	【目標】 ◆基礎学力の定着と主体的、意欲的な学習態度の育成 【方策】 (1) 教員のデジタルスキルの向上とスマートスクール端末の活用（東京都学校教育情報化推進計画） (2) 「総合的な探究の時間」の指導体制の強化による探究活動の充実 (3) 観点別評価の確実な実施 (4) 土曜日や放課後を活用した補習や講習による学習支援及び学習機会の確保 (5) 長期休業中における講習計画の充実 【数値目標】 (1) SDGs に関わる授業等を年度3回以上実施する。 (2) 授業等で、いじめ防止に関する学習指導を年度3回以上実施する。 (3) 一人1 台端末を活用したICTに係る授業を年度20回以上実施する。 (4) 教科間で情報共有し、教科横断的な授業等を年度3回以上実施する。 (5) 長期休業中の講習ついて講座を1 講座以上は開講する。
生徒健康づくり	【目標】 ◆規範意識の向上と基本的生活習慣の確立 ◆生徒の心身の健康を保持増進 【方策】 (1) 全教職員の共通理解による遅刻・頭髮・服装指導の実施及び自主的な防犯意識の醸成指導 (2) 携帯・スマホの使用マナーの徹底及びセーフティ教室によるネットアクセス等の危険防止教育の推進 (3) 交通安全教育、交通法規遵守の徹底、HR等を活用した安全教育の浸透 (4) 学校行事、部活動等を活用した基礎体力の向上 (5) 自立支援に関する情報共有を行い、必要に応じた通級指導等の実施（特別支援教育等の推進等） (6) SCやYSWと連携した相談活動の充実と組織的な対応 (7) すべての教育活動を通した自他を尊重する態度の育成 (8) 生命の大切さを伝える指導、カウンセリングの充実によるいじめ、自殺の未然防止指導の実践（自殺対策基本法及び自殺総合対策大綱） (9) アプリやデジタル機器等を活用した日々の生徒の健康管理と健康に関する情報発信 (10) 校舎内外、HR教室、各教室等の清掃および整理整頓の徹底 【数値目標】 (1) 人権教育プログラムを活用し、授業等にて人権課題に対する学習指導を年度1回以上実施する。 (2) いじめ防止について授業等で各学期に1 回以上（年度3回以上）は学習指導を実施する。（内1回は「SOSの出し方に関する教育」を教材として活用する。） (3) 生命尊重・命の大切さについて授業等で各学期に1 回以上（年度3回以上）は学習指導を実施する。 (4) 自転車登下校生徒のヘルメット装着率100%を目標とした指導を実践する。 (5) 体育的行事の参加率90%以上 (6) 自立支援委員会を年度20回以上実施する。 (7) 生徒個人ロッカーの施錠率100%を目標とした指導を実践する。
進路指導	【目標】 ◆生徒自らが将来の進路を真剣に考える姿勢の醸成及び進路の第1志望の実現 【方策】 (1) 進路指導部と学年の連携による進路ガイダンスの充実 (2) 生徒の具体的目標に合致した各種講習や模擬試験の実施 (3) 外部機関や卒業生などを活用した講演会等を実施するなどのキャリア教育の工夫 (4) 進路実現に向けた三者面談などの実施 【数値目標】 (1) 主として3年生に対する論文・作文指導5回以上、面接指導10回以上 (2) 新規企業訪問、上級学校訪問（大学、専門学校）1 回以上 (3) 授業等で、キャリア教育に係る学習指導を1，2年生3回、3年生1 回以上実施する。 (4) 各教科、「一人3検定」取得に向けて検定の紹介および推奨後、検定取得についての指導を実施（受検者合格率70%以上）※漢検・英検等は原則、必須とする。
特別活動	【目標】 ◆学校行事、部活動などによる生徒の主体性や自信の獲得 ◆多様性を理解するために地域交流や国際交流やボランティア活動の継続と充実 【方策】 (1) 各行事における実行委員の計画的な育成 (2) 新型コロナウイルス感染症5類移行後の各行事の充実 (3) ボランティア活動の積極的な活動の推進と生徒会活動の活性化 (4) 学校2020レガシーとしての国際交流、ボランティア活動、地域交流を通した異文化理解、ボランティアマインドの育成及び共生社会に対する意識の醸成 【数値目標】 (1) 年度5回以上の（部活動）部長会議を実施し、各部活動同士の情報共有等に努める。内2回以上は主顧問も参加する。同時に壮行会・報告会等も実施する。 (2) 学校部活動及び地域クラブ活動に関する総合的なガイドラインに基づき、時間、実施日を適切に活動する。（詳細P21参照） 学期中、長期休業中の休養日の設定について週当たり2日以上の休養日を設ける。1日の活動時間は、長くとも学期中の平日では2時間程度、週休日（祝日等を含む。）及び長期休業中は3時間程度、週休日は少なくとも1日を休養日とする。 (3) 体育系部活動は年度に3回以上大会等へ参加する。文科系部活動は年度に1回以上発表会への出場及び展示等を実施活動実績を外部に発信する。 (4) 教科「人間と社会」の単元で生徒全員へボランティア活動に取り組みさせる。それ以外は各ボランティアを生徒へ紹介し、ボランティアで1 単位修得者10人以上を目標とする。（授業以外のボランティア参加者は延べ200人以上） (5) 国際交流活動は学校行事の一環として生徒全員に年度3回以上実施する。
募集広報活動	【目標】 ◆教職員全員体制による募集・広報活動による応募倍率の向上 【方策】 (1) 学校説明会、学校見学会、中学校、塾訪問の工夫と充実 (2) HPや掲示板の更新による日々の最新情報の発信および学校イメージ向上PR活動の実施（ポスター掲示、チラシ配布等の実施） (3) 都立高校PR事業の活用 【数値目標】 (1) 学校説明会及び学校見学会等の参加者を650人以上。高校授業体験を3回以上実施する。 (2) HP及びSNSを使用する情報発信の合計300回以上 (3) 中学校訪問7月から9月の間に一教員3校以上及び塾訪問1校以上実施（出張扱い） (4) 中学生と本校生徒との部活動交流会年度に3回以上（運動系・文化系部活動問わず実施）
学校経営組織体制	【目標】 ◆企画調整会議と分掌部会・経営企画室との双方向性の維持と情報共有の徹底 ◆教職員の働き方改革の実現 ◆服務事故防止に関する取組の徹底 【方策】 (1) 企画調整会議、各種会議による各組織間の連携強化と情報の共有化 (2) 着実な予算申請、ヒアリング等による適正な自律予算、補正予算の編成と計画的な執行 (3) 体罰禁止、個人情報の徹底管理等、コンプライアンスの周知徹底 (4) 効率的な業務の遂行と業務のスリム化による教職員のライフ・ワーク・バランスの実現

(2) 重点目標と方策																											
学習指導	【目標】 ◆授業規律の確立 ◆土曜日や放課後の補習・講習の実施による、基礎学力の定着と学習意欲の醸成 【方策】 (1) 授業時間を厳守する。 (2) 月1回以上の教科会、また定期的な教科主任会により観点別評価の理解を深める。 (3) 土曜日や放課後、また長期休業期間中の補習や講習の充実及び自習室の有効活用により、学習支援や就職SPI等の筆記試験対策及び進学対応を強化する。 (4) 学習アプリを活用した自学自習を推進する。 (5) デジタル機器を活用した授業を実践する。																										
生徒健康指導	【目標】 ◆学年と生徒保健部との連携による遅刻の減少 ◆身だしなみ違反者、携帯等のルール違反者を出さない指導の徹底 ◆学年と自立支援担当、YSW、SC等が連携し、中退防止 ◆問題行動の未然防止及び再発防止 ◆体力づくり 【方策】 (1) 登下校時、集会、HR、授業時等に全教員で身だしなみ指導を徹底する。 (2) 学年集会等により生活指導を周知徹底し、生徒の把握及び早期対応を図る。 (3) いじめアンケート、教育相談委員会等を活用し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努める。 (4) SCやYSWと連携した教育相談活用を充実する。 (5) 計画的な体育の授業、積極的な部活動参加を通して体力向上を図る。 (6) 共通理解を図るため、生徒指導に関する悉皆の研修を定期的開催する。																										
進路指導	【目標】 ◆生徒の進路希望の実現 【方策】 (1) 多様な進路を実現するため、教職員の共通理解を図るため進路指導に関する悉皆の研修を開催する。 (2) 各学年で組織的、計画的な進路ガイダンスを実施し、生徒の進路意識を向上させる。 (3) 三者面談等を活用して早い時期から進路実現に向けた意識を育成する。 (4) ハローワーク、同窓会と連携して、講話などを通してキャリア教育を充実させる。 (5) 自立支援事業を活用して、退学防止に努める。																										
特別活動	【目標】 ◆行事の活性化とボランティア活動の推進 【方策】 (1) 部活動参加を促し、様々な体験を通じて協調性、主体性を養う。 (2) 「ボランティア活動」を内外に発信し、積極的な活動を推進する。 (3) 特別支援学校との交流を継続する。 (4) 国際交流活動の推進を図る。																										
募集広報活動	【目標】 ◆応募倍率の向上とHPの充実 【方策】 (1) 夏期休業中の学校見学会は総務部及び日直対応で毎日開催する。 (2) 夏期休業中の中学校訪問は全教員で取り組む。 (3) 外部団体や中学校からの依頼については学校全体で対応する。 (4) 中学校での出前授業を実施し、高校での授業を中学生にイメージさせる。 (5) 生徒の活躍や学校行事等をタイムリーにHPや掲示板等で発信する。 (6) 都立高校PR事業を活用し魅力ある学校動画を作成する。																										
学校経営組織体制	【目標】 ◆分掌間、教員と経営企画室、学年と分掌等の意思疎通と情報共有 ◆効率的な業務の推進（学校における働き方改革の推進プラン） 【方策】 (1) 学校経営に即した適切な予算編成と予算執行を行う。 (2) 教職員の個人情報管理とコンプライアンスの推進を徹底する。 (3) ライフ・ワーク・バランスの実践のため、全教職員の時間外勤務時間を短縮させるよう意識改革と業務縮減の工夫を行う。 (4) 共通理解を図るための研修を行う。																										
数値目標【全体】	<table border="0"> <tr> <td>授業満足度</td> <td>90%以上</td> </tr> <tr> <td>遅刻者</td> <td>1日25名以内</td> </tr> <tr> <td>特別指導件数</td> <td>10件以内</td> </tr> <tr> <td>教育相談委員会開催回数</td> <td>10回以上</td> </tr> <tr> <td>進路指導満足度</td> <td>90%以上</td> </tr> <tr> <td>進路決定率</td> <td>95%以上</td> </tr> <tr> <td>進級率</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>部活動加入率</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>ボランティア個人参加者のべ人数</td> <td>150名</td> </tr> <tr> <td>学校HP、SNS等の更新回数</td> <td>300回</td> </tr> <tr> <td>出前授業</td> <td>10回以上</td> </tr> <tr> <td>入選 推薦倍率</td> <td>2.5倍</td> </tr> <tr> <td>入選 学力倍率</td> <td>1.2倍</td> </tr> </table>	授業満足度	90%以上	遅刻者	1日25名以内	特別指導件数	10件以内	教育相談委員会開催回数	10回以上	進路指導満足度	90%以上	進路決定率	95%以上	進級率	100%	部活動加入率	70%	ボランティア個人参加者のべ人数	150名	学校HP、SNS等の更新回数	300回	出前授業	10回以上	入選 推薦倍率	2.5倍	入選 学力倍率	1.2倍
授業満足度	90%以上																										
遅刻者	1日25名以内																										
特別指導件数	10件以内																										
教育相談委員会開催回数	10回以上																										
進路指導満足度	90%以上																										
進路決定率	95%以上																										
進級率	100%																										
部活動加入率	70%																										
ボランティア個人参加者のべ人数	150名																										
学校HP、SNS等の更新回数	300回																										
出前授業	10回以上																										
入選 推薦倍率	2.5倍																										
入選 学力倍率	1.2倍																										